

早稲田社会学会ニュース 第19号

2002年4月25日発行

早稲田社会学会事務局

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部 社会学研究室内

Tel: 03-5286-3742

E-mail: t_enomoto@nifty.com

今回のニュースの内容

1. 第54回早稲田社会学会大会および総会開催のお知らせ
2. 研究活動委員会より（委員長の交替／本年度大会シンポジウムについて／研究例会開催のお知らせ）
3. 大会一般報告および『社会学年誌』第44号投稿の募集
4. 2002年度の研究助成の募集
5. 役員改選に伴う「理事候補者推薦委員会」委員の選出結果について
6. 学会費納入のお願い
7. 会員名簿の配布とそれに伴う掲載データ照会について
8. 転居先不明者についてのお尋ね

1. 第54回早稲田社会学会大会および総会開催のお知らせ

本年度の早稲田社会学会大会および総会を、2002年7月13日（土）に、早稲田大学文学部 第一会議室において開催いたします。シンポジウムのテーマは「複雑性とシステムへの新たな視点 ミクロ・マクロ関係を問い直す」です。詳細につきましては次節「研究活動委員会より」をご参照ください。一般報告などを含むプログラムの詳細につきましては、6月下旬にお知らせする予定です。

事務局では大会での一般報告を募集いたします。報告を希望される方は、第3節をご参照の上、事務局宛てに郵送でお申込みください。

2. 研究活動委員会より

(1) 研究活動委員会委員長の交替について

2001年12月15日の研究活動委員会および理事会において、天野 徹氏に替わり、桜井 洋氏が研究活動委員会委員長を務めることが承認されました。

(2) 本年度大会シンポジウムについて

テーマ：「複雑性とシステムへの新たな視点 ミクロ・マクロ関係を問い直す」

<趣旨説明>

システムとは社会学の基本的な考え方であるが、これを複雑性という観点から検討してみたい。この概念は、カオス研究など自然科学の領域で誕生したものであるが、近年、経済学を中心に社会科学の分野にも影響をおよぼしつつある。社会学では未だほとんど取り上げられていないが、今後、非常に重要なテーマになるものと思われる。伝統的なシステム論においては、モデルの設計・構築、プログラム、コントロールなどが主要な観点となる。それに対して、複雑性の理論における「システム」とは自己組織的に形成されるものであり、システムが実在し、それが秩序を生み出していく、という理解に立つ。複雑性、自己組織性の理論は、ミクロ・マクロ関係を、これまでとは別のかたちで設定するものであるといえる。

キーワードとして、複雑性、自己組織性、オートポイエーシス、アフォーダンスなどが挙げられる。

（研究活動委員会委員長 桜井 洋）

(3) 第 19 回 研究例会開催のお知らせ

第 19 回(2002 年度第 1 回)の研究例会を下記の要領で開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

日時： 5月18日(土) 15:00-18:00
会場： 早稲田大学文学部 第一会議室(33号館 2F)
報告者および報告題目：
高橋順一 氏(早稲田大学) 「アドルノの文化理論」

3. 大会一般報告および『社会学年誌』第 44 号投稿の募集

以下の項目を A4 の用紙 1 枚に記入し、事務局宛てに郵送で申し込んでください。両方に申し込む場合には、それぞれ別の用紙で申し込みをお願いいたします。

大会一般報告、または『社会学年誌』第 44 号投稿、のいずれかを明記してください

- (1) 氏名
- (2) 所属
- (3) 郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス
- (4) 題目(副題を別として 25 字程度まで)
- (5) 内容概略(200~400 字程度)

大会報告：申し込み締め切りは、5 月末日(消印有効、郵送のみ受付)

『社会学年誌』投稿：申し込み締め切りは、6 月末日(消印有効、郵送のみ受付)

なお、申込書提出後の題目、内容の大幅な変更は認められませんのでご注意ください。原稿の提出締め切りは、8 月末日(消印有効、郵送のみ受付)です。分量、書式その他、投稿規定については、既刊の『社会学年誌』をご参照ください。

4. 2002 年度の研究助成の募集

これまでに当学会に寄せられた寄付金により、寄付者のご意思を尊重して、次の要項により会員各位の研究活動を助成いたします。

助成対象：早稲田社会学会の発展に寄与する研究活動

助成額： 1 件 30 万円程度を上限とする

助成を希望される方は事務局までご連絡ください。追って「申請書用紙」をお送りいたします。なお、申請書の提出締め切りは、5 月末日(消印有効、郵送のみ受付)です。

また、この趣旨に賛同される方からのご寄付も募っております。寄付についてのお問い合わせは事務局までご連絡ください。

5. 役員改選に伴う「理事候補者推薦委員会」委員の選出結果について

現役員の任期満了（第54回総会まで）を控え、2001年12月15日に開催された理事会の指名によって、以下の5名の会員が推薦委員に選出されました。（敬称略）

臼井恒夫、門口充徳、佐藤慶幸、土屋淳二、那須 壽

6. 学会費納入のお願い

今年度の学会費を、同封の「郵便振替払込書」にてお振込みくださいますようお願い申し上げます。

年会費： 一般会員 5,000 円 学生会員 3,000 円

口座番号： 00100-3-38020

加入者名： 早稲田社会学会

新年度にあたり、ご所属・ご連絡先等に変更がありましたら、その旨を通信欄にお書き添えください。会費を3年以上未納されますと、2000年7月8日の総会決議および2000年12月16日の理事会決議に基づき、会員資格の一部が停止されます（次の3つの権利が失われます。学会大会で報告すること『社会学年誌』へ投稿すること 『社会学年誌』の配布を受けること）のでご注意ください。

7. 会員名簿の配布とそれに伴う掲載データの照会について

2001年12月15日の理事会において、「会員名簿」の作成と配布について以下の要領が決定されました。

- (1) 名簿の作成と会員への配布を実施する
- (2) 名簿には氏名、所属、郵便番号、住所、E-mail アドレス、電話番号の情報を掲載する
- (3) 事前にアンケートを実施し、全会員に電話番号掲載の可否、および名簿の受け取り方法（印刷冊子の郵送、またはE-mailの添付ファイル）の2点を確認する
- (4) アンケートの返信期限は2週間程度を目安とする
- (5) 返信がなかった会員については、本人の電話番号をそのまま掲載し、印刷冊子を郵送する

これに基づき、事前アンケートの葉書を同封いたします。必要事項をご記入のうえ、5月11日(土)までに投函くださいますようお願いいたします。昨年、会員データの照会にご協力をいただきましたが、今回の名簿作成にあたり、念の為に再度確認させていただきたく存じます。たびたびお手数をおかけいたしますが、同封の葉書裏面に記載しましたご住所等に変更・錯誤などがございましたら、適宜、補記・訂正のうえご返送くださいますようお願いいたします。

なお、名簿の発送は、次回「学会ニュース」の発行に合わせて本年7月下旬に行う予定です。

8. 転居先不明者についてのお尋ね

事務局では、本年3月現在、下記の会員の連絡先を把握できておりません。「会員名簿」の作成も控えておりますので、お心当たりのある方がおられましたら、是非事務局までお知らせください。

所属先は登録時のものです(敬称略)

(Web版につき以下削除)

以上